

項目	内容
名称	マコモ、ハナガツミ、チマキグサ [英]Manchurian wildrice [学名]Zizania latifolia (Griseb.) Turcz. Ex Stapf
概要	マコモ (真菰) は、古くから日本各地の湖沼や用水路などに自生しているイネ科の大型草本で、高さ1~3 m程度に生長する。日本では今も神仏に供せられる形で多くの神社に神事として残っているほか、みのやむしろなどの生活用品の材料として、また、早春に萌芽した芽を食用として利用する場合もある。マコモにできる黒穂菌病の菌えい (菌類が寄生したために植物にできた瘤) が独特の歯触りと風味を持つことから、マコモタケと呼ばれて食される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> マコモ 葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	-
分析法	-
有効性	
ヒ ト で 循環器・ 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (1998214322) 皮膚科の臨床. 1998;40(6);988-92. (101) 静岡県農業試験場研究報告. 1993;(37):13-23. (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳	